令和８年度第１回北薩地区小・中・義務教育学校教頭研修会

令和８年５月21日（木）

1　目　的	県及び地区教育行政の重点施策並びに共通実践事項等について理解を深めるとともに、教頭という立場から、責任を果たす学校づくりにおける課題と解決策を確認し、学校教育の充実に資する。
2　会　場	薩摩農村環境改善センター（さつま町）
3　出席者	管内各小・中・義務教育学校教頭 各市町教育委員会教育長、学校教育課長、指導主事　等
4　内　容	⑴　開会の挨拶及び所長講話　所長 ⑵　教育事務所の重点施策等説明 ア　総務課　総務課長 イ　管理課　管理課長 ウ　指導課　事前オンデマンド配信 ⑶　総務福利課教育ＤＸ推進室説明 教育デジタル推進係　指導主事　村田　寛文 <昼食・休憩> ⑷　事例発表及び質疑応答 長島町立鷹巣小学校　教頭　中間　利彦 ⑸　講演（オンライン） 講師：国立教育政策研究所教育課程研究センター 学力調査課長　櫻井　綾乃　氏 ⑹　追究の時間 「学力向上のための教頭としての取組」 ⑺　まとめと指導　指導課長 ⑻　閉会の挨拶　さつま町教育委員会教育長

5　様　子

<事例発表>
長島町立鷹巣小学校　中間　利彦　教頭

<追究の時間>
テーマ：学力向上のための教頭としての取組

<まとめと指導>
北薩教育事務所　吉里　博之　指導課長

<閉会の挨拶>
さつま町教育委員会　中山　春年　教育長

6　感想・意見

校長の経営方針の実現に向けて、教頭として自分ができることを見付け、一つずつ取り組んでいきたい。今後は、学力向上だけでなく生徒の安全や体力向上についても追究していきたい。

学力向上は、学びに向かう力（学力・やる気）と生き抜いていこうとする力（レジリエンス・自分の目標に向かって自走できる力・仲間と解決し合おうとする力）を高めるよう仕向けていくことだと分かった。

事例発表が、自校で生かせることを考える機会となった。職員間の同僚性を重視し、チーム学校として、学校全体の力を高めていきたい。また、結果は出ていないが、本校なりに努力し、取り組んでいることがあるので、特別支援教育、学力向上などを更に充実させていきたい。